

議長（竹島ユリ子君） 3番 山崎知信君。

3番（山崎知信君） おはようございます。山崎でございます。

村長の4年間の評価は前の明和善一郎さんと同じ思いでございます。今後ともよろしくをお願いします。

また、きょう私に質問の二番手を与えてくださいました事務局に感謝いたします。

私は2点ほど質問したいと思います。

まず1点は、定額給付金について村長にお伺いします。

麻生政権の経済政策の目玉である総額2兆円の定額給付金につきましては、1人当たり1万2,000円、18歳以下・65歳以上には1人当たり2万円が給付される予定です。

まず高額所得者の目安1,800万円に対してですが、「自発的な辞退を求める」とあります。また、所得制限設定については「自治体に任せる」とされています。それと、一部のメディアが「約半数の人は要らない」と報じているが、本村はどうするのでしょうか。また、支給方法についてどうするのか。口座を持たない方への対応や振り込め詐欺などの対策も必要と思いますが、含めてお聞きいたします。

次に、立山町との水道の広域化について副村長にお伺いします。

村長は平成17年3月の富立大橋開通後、18年ごろより、沿道サービスの向上と舟橋村のライフラインの確保、村長がよく言う安全で安心のむらづくりに向け、立山町からの水の供給ができないかとトップレベルで立山町長と話し合い、ことしの3月定例会の一般質問では今年度中に方向性を示したいと答弁されております。

私は、災害時に消火栓を開いたときの水圧低下や朝食時間、一斉に水道を使われた場合の水圧低下など、水道水の安定供給の観点から一日も早い水道の広域化実現を期待しております。

村長は年度内の方向性の確立に向け、副村長をリーダーとして立山町との協議を進めていくとおっしゃいました。また6月議会の一般質問の答弁では、村の財産、有形固定資産は6億800万円の価値があり、また今年度末の村債の残高が4億1,700万円あり、双方の条件面について協議を進めているところであると答えられました。しかし、立山町との協議は今年度に入って3度しか行っておりません。協議は回数ではなく中身だと思いますが、あまりにも少ないのではないのでしょうか。本当に一日も早い水の安定供給を実現しようとしているのか私は不安になります。6月以降どのような進展があっ

たのですか。今年度も残すところあと3カ月余り、本当に年度内の方向性が出せるのでしょうか。

私は11月25日、立山町に行って水道課長に聞いてまいりました。その中で、舟橋村は水道事業で6億800万円を投資しており、2億円は返したから、あと立山町に3億円で買ってくれないか。あとの1億円は舟橋村の施設等々でございませうという話を持ってこられたそうでございます。立山町も困っているような顔をしておられました。当初、村長は広域化、広域化と言っておられましたが、村長はそのことはもちろん知っておられますよね。立山町が買い取って舟橋村の苦情だけを引き受けるのかということも課長は言っておられました。

また昨日、協議会の中で水道の広域化の経緯について説明がありました。その内容たるや、3回しか行っていないというお粗末なものです。また、一部の議員の立山町の指摘事項に対し、村長はあまり慌てなくてもとの答え。村長、水道の広域化は村民の安全・安心のために早急にしようとしている課題ではないんですか。また、それに対し、副村長をリーダーとしている他の人も何の反論もない。これでは、あなた自身がこの村のために思うという気持ちが私には全然伝わってきません。

また、南の村の玄関口の件ですが、副村長は私の9月の一般質問で、「大変魅力的なエリア」と答弁されております。その大変魅力的なエリアはその後どんな進展があったのかも副村長にお伺いいたします。

以上でございます。

議長（竹島ユリ子君） 村長 金森勝雄君。

村長（金森勝雄君） 3番山崎知信議員のご質問にお答えしたいと思います。

私のほうから定額給付金についてお答えいたしまして、水道の広域化につきましては副村長のほうから答弁させていただきますので、よろしくお願ひしたいと思います。

今議員さんおっしゃったとおり、麻生総理の目玉といたしまして、10月30日に、追加経済対策として総額2兆円の生活支援定額給付金というものを今年度の第2次予算に加えて、年度内の支給を目指しておりました。しかしながら、ご存じのとおり、野党の批判なり、政局の混迷から法案の提出にめどが立っていないというのが現況であります。

定額給付の内容につきましては、議員さんがおっしゃったとおり、1人1万2,000円、そしてまた65歳以上の方と18歳未満の方はプラス8,000円、要するに

65歳以上の方と18歳未満の方には2万円となっておりますのでございます。

そしてまた所得制限の話でございますけれども、これも私は今現在、しっかりと申し上げておきますけれども、設ける気持ちはありません。ただし、まだその要綱等につきましても定まっておりません。国ではこういった全国の都道府県の担当者に対する説明会を持っておりまして、11月28日に初めての説明会がございました。どういう内容であったかと申し上げますと、所得制限は設けないことが基本であると。ということは全世帯に給付するということですね。それからまた給付方法につきましても、口座振込と先ほどおっしゃいましたけれども、これは窓口で申請、あるいはまた現金の受け取りも可能としたというふうな内容と受けております。

そうしたこともありますので、また、きょう富山県における担当者の説明会が10時から県庁内で行われることになっておりますので、私はそれを踏まえて検討してまいりたいと思っております。

いずれにいたしましても、今後、国なり県内の市町村の動向を見極めまして、議員の皆さんと協議させていただく機会を持ちたいと考えておりますので、よろしくご理解を賜りたいと思っております。

また、議員がご心配になりました振り込め詐欺の関係でございますけれども、これにつきましては、総務省のほうから犯罪防止の広報啓発の依頼もまいっておりますので、本村のホームページあるいはまた広報ふなはし等を利用いたしまして、注意を喚起、啓発してまいりたいと思っております。

いずれにいたしましても、私は地区担当の民生委員さん、6人おいでになるわけでございますので、その民生委員さんの力をかりて、間違えのないように、被害をこうむらないように万全を期してまいりたいと考えておりますので、どうか議員のご理解を賜りたいと思っております。

以上で私の答弁にかえさせていただきたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。
議長（竹島ヨリ子君） 副村長 古越邦男君。

副村長（古越邦男君） それでは、私のほうから山崎議員の立山町との水道の広域化についてどのようになっているのかというご質問にお答えをさせていただきたいと思っております。

ご質問の立山町との水道広域化につきましては、議員各位の関心も大変高く、先ほど議員ご指摘のとおり、ことしの3月、6月、9月とそれぞれの方々からご質問がなされ、

村長から、立山町さんの立場もあるし、村民の皆様にもご理解をいただかなくてはならない。慎重に進めていく必要がある。今年度中には方向性を見出せるよう進めてまいりたいと答弁がなされております。

事務サイドといたしましては、どのような手法で広域化を図るのか。それぞれの手法でのメリット、デメリットの検討、水道施設財産、国庫補助金や交付税、起債の取り扱い問題、広域化後の水道事業の村のかかわり方等、さまざまな課題につきまして立山町の関係各課と協議し、判断に迷う事案につきましては県の担当課にもご助言をいただくなど、解決に向けた取り組みをしてまいりました。

今ほど、この一年で3回しか協議の場を持っていない、広域化の歩みが遅いというご指摘がございましたが、それぞれ独立した行政体でお互いの立場を尊重し合いながらの交渉事でございます。村長と舟橋立山町長さんとはお互いメリットのある対応ということで合意がなされておりますので、今申し上げましたさまざまな行政課題を一つ一つ解決できますよう、今後とも県担当課との情報交換も含め、あらゆる角度から慎重に検討を加え、皆様のご理解をいただけるよう努めてまいりたいと思っております。

もう1つ、通告にはございませんでした村の南の玄関口の取り組みについてのご質問でございますが、9月議会でもお話しさせていただきましたとおり、開発業者さんの全体計画がまだ示されておられません。近日中に提示されると聞いております。それらを含めながら総合的に検討した後にということ考えておりますので、いましばらく時間がかかるのではないかと考えております。議員のご理解をお願いいたしまして答弁とさせていただきます。

議長（竹島ユリ子君） 3番 山崎知信君。

3番（山崎知信君） 先ほど副村長が慎重に協議をしていきたいと言われましたけれども、では、その慎重の協議の終了はいつごろなんですか。また、来年も3回ぐらいの会合を予定しておられるのかどうか、その点もお伺いいたします。

議長（竹島ユリ子君） 副村長 古越邦男君。

副村長（古越邦男君） 山崎議員の再質問にお答えをさせていただきます。

慎重に検討を加えというふうに申し上げました。慎重といいますのは、物事に対しましてあらゆる角度から検討を加えるということを慎重と表現させていただいたということでご理解いただきたいと思います。

それで、来年度何回行うかというご質問でございますが、現在、事務サイド、私ども

でやっている検討中のことがうまくいけばすぐ何でも進みましょうし、多少時間がかかるとなればまだまだということもあり得るかも知れません。ただ、現時点では真剣に進展するように取り組みをしているということでございますので、ご理解を賜りたいと思います。

以上でございます。

議長（竹島ヨリ子君） 3番 山崎知信君。

3番（山崎知信君） 私は先ほど申し上げたとおり、災害時に消火栓を開いたときの水圧低下、朝食時間、一斉に水道水が使われたときの水圧低下など、水道の安定供給の観点からも一日も早い広域化を望んでおるわけで、そういうことではだめです。もっと早くやっていただきたいと思います。

以上です。

議長（竹島ヨリ子君） 副村長 古越邦男君。

副村長（古越邦男君） 今ほどの安定供給に向けた取り組みというご指摘はごもっともでございます。それに向けて十分取り組みをしてみたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。